

中国山東省友好提携 40 周年記念訪問団来校 日高高校生と親睦を深める

8月28日(水)山東大学と山東財経大学の学生が来校しました。今夏の猛暑に配慮し歓迎式典は本校会議室で開催し、各教室とオンラインで繋ぎました。日高高校は箏曲部による歓迎演奏を行い、一方、山東省の学生は、猫の恩返しの主題歌「風になる」の日本語での独唱や、書道パフォーマンスの披露でセレモニーを盛り上げてくれました。その後、一団は本校の音楽、美術と英語の授業に参加しました。音楽の授業では一緒に「涙そうそう」を合唱し、美術の授業では互いの似顔絵を描きました。英語の授業では、折り紙を折りながら話をしてコミュニケーションをとりました。昼休みには本校の国際交流委員生徒たちと昼食をとり、音楽やアイドルの話をしながら親交を深めました。短い時間でしたが、互いの文化を学び合う貴重な機会となりました。



【今回の訪問を通じて学んだことや発見したこと ～振り返りシートより～】

2年生だけで行う初めての演奏が、中国山東省の歓迎式典だったので緊張しました。私たち12人は「幻窓疾駆」を披露しました。感動を届けたい一心で練習に励みました。リハーサルではミスをした時に目立ってしまうと思ったので、タイミングのずれ、押しの音、リズムが乱れないように心がけました。プラスになったことは2年生12人で演奏を成功できたことです。部員が一丸となって楽しく演奏ができたことが、うれしかったです。今回の演奏が私たちにとって良い経験となり、とても光栄でした。ありがとうございました。 箏曲部部长 上田 ゆめの

中国山東省の大学生との交流を通して、お互いの異なる文化や価値観、考えに対する理解と認識を深め、地域特性を活かした幅広い文化交流を行うことができたと思います。一団の代表生徒が日本語で挨拶をしたり日本の曲を歌っているのを聴くと、親近感がわきうれしく思いました。私自身も挨拶の一部を中国語で行い、少し中国語を知ることができました。これからも、言葉の壁を越えて、お互いの考えを理解、尊重しながらより交流を深めていきたいです。

生徒会長 阪本 美沙